

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		緑地管理事業	担当課	経済課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成21年度～
	施策	緑を生かした景観の形成	種別	任意的事務
	基本事業	公園・街路樹等の維持管理	市民協働	
予算科目コード		01-060104-03 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 当該区域内の草刈や桜の消毒を業務委託により、適切な維持管理を行う。
利根川と鬼怒川に挟まれた自然豊かな風景が残存する魅力ある地域であり、酪農団地と河川堤防敷を一体とした総合的な公園として活用することを目的に平成19年度から事業を開始した。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
当該区域を市民の憩いの場として提供できるように整備する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公園・街路樹等の適切な維持管理を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
当初計画していた桜公園の整備計画を見直し、現状利用（草地）での市民の憩いの場としての活用方法を検討する。	現状利用での市民の憩いの場としての活用方法の検討を行う。（H30年）
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
整備計画の見直しを行うとともに、必要最小限の占有面積となるように国土交通省と再度、協議を行う。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☒ 削減	草刈及び樹木消毒のみの管理であるが、樹木消毒を休止する。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の実績（評価、課題への対応）
国土交通省からの占用については、対象地の今後の活用方針が定まるまで期間を更新することとする。	対象地の今後の活用方針については引き続き検討中であるが、平成30年度予算において桜の消毒に関する業務を廃止した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
草刈面積（ha）	2.60	1.93	1.95	1.95	1.95
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	管理のみを行う事業であるため。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☒ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	平成30年度以降，桜の消毒に関する業務を廃止する。				

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	769	907	791	800	800
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	769	907	791	800	800
正職員人工数（時間数）		0.00	54.00	71.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	221	291	0	0
トータルコスト		769	1,128	1,082	800	800

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		公園維持管理事業		担当課 建設課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち		計画期間 昭和57年度～
	施策	緑を生かした景観の形成		種別 任意の事務
	基本事業	公園・街路樹等の維持管理		市民協働 事業協力
予算科目コード		01-080402-05 単独	根拠法令・条例等	都市公園法，守谷市都市公園条例

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
宅地開発等により整備された公園内の施設や植栽等を適切に管理するため。	公園内の植栽の管理を委託し，維持・管理する。 公園内の施設を適切な状況で利用できるよう，修繕や清掃等を行い維持・管理する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
緑豊かでレクリエーションやスポーツの場として親しまれている公園や運動施設を，市民の憩いの場として，いつでも安心して楽しく利用できるよう維持管理を行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公園・街路樹等の適切な維持管理を行う。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
公園などの樹木が植栽後，数十年が経ち，老木による腐朽・空洞化が進行している。特に，高木の倒木による事故等の発生が懸念される。	平成30年度 健全度調査
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
老木の腐朽・空洞化の状況を調査し，健全度を調査する。判定に基づき，樹木更新を実施する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☒ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	樹木健全度調査委託費 2, 614 千円

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の実績（評価、課題への対応）
公園まちづくり団体助成制度のPRを積極的に行うとともに、公園管理業務3ヶ年契約の効率的な執行に努める。	公園植栽管理業務の3ヶ年契約（平成29年度～平成31年度）を実施し、経費削減に努めながらも管理した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
事故件数（件）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
遊具修繕数（箇所）	34.00	33.00	45.00	45.00	45.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	公園管理工の費用が年々増加するなか、３ケ年契約により管理内容を維持しつつ、費用を縮小させ安心できる公園管理をした。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 ■ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	公園内清掃業務も３ケ年契約（平成30年度～平成32年度）を実施し、公園植栽管理業務と併せて継続的に管理して、安心して利用できる公園にして行く。			

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	372,804	407,754	390,832	423,008	425,050
	国・県支出金	5,796	6,334	6,393	6,392	6,549
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	7,729	2,759	384,439	213,732	54,195
	一般財源	359,279	398,661	0	202,884	364,306
正職員人工数（時間数）		0.00	5,304.00	3,515.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	21,746	14,412	0	0
トータルコスト		372,804	429,500	405,244	423,008	425,050

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		公園施設改修事業		担当課	建設課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち		計画期間	平成20年度～
	施策	緑を生かした景観の形成		種別	任意的事務
	基本事業	公園・街路樹等の維持管理		市民協働	
予算科目コード		01-080402-06 補助	根拠法令・条例等	守谷市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市民が、安全・安心に公園施設を利用できるように、公園施設を対象に、平成24年度に守谷市公園施設長寿命化計画を作成している。	老朽化した松ヶ丘公園施設を効果的に修繕・更新を行う。 1 工事請負費 ・ 松ヶ丘公園改修工事 27,000千円
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
平成25年度から老朽化した公園施設の改修を計画的に実施し、市民が安全で快適に利用できる公園にする。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公園・街路樹等の適切な維持管理を行う。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
公園施設を安全・快適に利用してもらうため，計画的な改修が必要である。そのため，長寿命化計画により計画的に改修を実施していく。	・立沢公園パーゴラ設置 9月29日完了 ・下新田公園遊具設置 10月31日完了 ・立沢公園カラー舗装 12月25日完了予定 平成30年度スケジュール ・松ヶ丘公園カラー舗装（長寿命化計画より） ・松ヶ丘公園照明改修（長寿命化計画より）
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
遊具点検等で施設の状態を的確に把握し，長寿命化計画を定期に見直しを行いながら管理していく。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐増加 ☒維持 ☐削減	

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の実績（評価、課題への対応）
守谷市公園施設長寿命化計画により、公園改修工事等を行い、安全・安心に利用できる公園にしていく。	守谷市公園施設長寿命化計画により、立沢公園の園路改修工事を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
改修率（％）	0.00	28.60	35.70	64.30	100.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	計画的な公園改修により、安全・安心に利用できる公園の維持・向上がされた。 今後も、守谷市公園施設長寿命化計画により、公園改修工事等を実施し、安全性の向上をしていく。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 ■ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	公園施設の点検等を踏まえ、定期的に守谷市公園施設長寿命化計画を見直し、公園改修等を計画的に行い、安全・安心に利用できる公園にしていく。			

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	59,519	54,262	32,364	27,004	30,000
	国・県支出金	10,500	10,500	10,000	10,000	15,000
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	49,019	43,762	22,364	17,004	15,000
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	52.00	52.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	213	213	0	0
トータルコスト		59,519	54,475	32,577	27,004	30,000

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		公園まちづくり団体助成事業		担当課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち		計画期間
	施策	緑を生かした景観の形成		種別
	基本事業	公園・街路樹等の維持管理		市民協働
予算科目コード		01-080402-07 単独	根拠法令・条例等	守谷市公園等維持管理団体助成金交付要綱 守谷市公園等里親事業実施要項

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市と市民のパートナーシップにより、協働のまちづくりの推進を図るため、平成14年度に守谷市公園等里親事業実施要綱及び平成17年度に守谷市公園等維持管理団体助成金交付要綱を定めた。	公園等維持管理団体助成事業は、公園等の維持管理を行う参加団体に助成し、年間を通し公園等を良好に管理してもらう。 参加団体数：17団体 公園等里親事業は、ボランティア団体が公園や道路の植栽樹等に、花苗植えや除草等を行い、市民による環境美化の推進を図る。 里親団体数：70団体
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民や団体等による年間を通じた公園等の管理及び緑化について協働のまちづくりを推進する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公園・街路樹等の適切な維持管理を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
守谷市の玄関口である守谷駅の植栽樹など公園里親において草花の植栽をしている。しかしながら、里親がいない植栽樹がある。里親の活動範囲を拡充を図り、協働による魅力あるまちづくりを推進していく必要がある。 公園等里親事業を効果的に実施していくため、守谷の玄関口である守谷駅前及び開通した坂町清水線を重点路線として取り組む。	里親団体数 年度当初 57団体 11月現在 64団体（7団体増） 表彰・情報共有の場の提供・情報発信の検討 団体への参加依頼（勧誘） 8月上旬 実施済み 12月中旬 実施予定 2月 里親会議（情報提供等） 3月 広報掲載にて募集 次年度の取組み 4月下旬 参加団体勧誘 （国体に向けて重点路線の参加団体強化）
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
駅前の企業や店舗など、公園里親の活動の趣旨と内容を周知し、多くの団体の参加を得る。 魅力的な整備を目指し、花の種類を統一するなど、実施団体と調整する。 経費削減のため、種から苗までの生育を試み、その苗を配付できるようにする。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	公園里親の団体数の増加による。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の実績（評価、課題への対応）
事業内容が公園等里親事業と重なるところが多いため統合し、事務の効率化を図る。 また、統合により協働で公園や道路の植樹樹の緑化を推進するとともに、維持管理していくという事業の意図が明確にする。	公園まちづくり団体助成事業は17団体の参加により、17公園等の良好な維持管理ができた。 公園等里親事業は66ボランティア団体の参加により、市民による環境美化の推進が図れた。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
参加団体数（件）	15.00	17.00	17.00	18.00	22.00
里親団体数（件）	52.00	55.00	66.00	70.00	60.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	公園まちづくり団体助成事業と公園等里親事業の周知とPRすることにより、団体数を増やし協働のまちづくりの推進を図る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
■ 拡大 □ 縮小 □ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	公園まちづくり団体数と公園等里親ボランティア団体が増加することにより、協働のまちづくりが拡大される。			

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	3,165	3,245	6,689	9,204	9,204
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	6,689	9,204	9,204
	一般財源	3,165	3,245	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	1,519.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	6,228	0	0
トータルコスト		3,165	3,245	12,917	9,204	9,204